

食品安全委員会の12月の運営について（報告）

1. 食品安全委員会の開催

第72回 12月2日（木）

- ・食品健康影響評価の要請（添加物 加工デンプン（アセチル化アジピン酸架橋デンプン、アセチル化リン酸架橋デンプン、アセチル化酸化デンプン、オクテニルコハク酸デンプンナトリウム、酢酸デンプン、酸化デンプン、ヒドロキシプロピルデンプン、ヒドロキシプロピル化リン酸架橋デンプン、リン酸モノエステル化リン酸架橋デンプン、リン酸化デンプン及びリン酸架橋デンプンに限る。)) に関する厚生労働省からの説明
- ・食品健康影響評価（動物用医薬品3品目 「豚ボルデテラ感染症・豚パストレル症・豚丹毒混合（アジュバント加）不活化ワクチン」、「ぶりビブリオ病不活化ワクチン」及び「ひらめβ溶血性レンサ球菌病不活化ワクチン」について、意見募集の結果を踏まえて検討。同日付で食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣及び農林水産大臣に通知）
- ・食品健康影響評価（遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物「PLA2（ホスホリパーゼA2）」について、意見募集の結果を踏まえて検討。同日付で食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知）
- ・農薬専門調査会における審議状況について報告（「クロチアニジン」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・厚生科学特別研究「東北北陸等での急性脳症多発事例にかかる研究班」第一回研究班班会議の概要について（厚生労働省からの報告）
- ・北海道におけるE型肝炎事例について（厚生労働省からの報告）
- ・食品安全委員会の11月の運営について（報告）

第73回 12月9日（木）

- ・食品安全基本法第11条第1項第1号の食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないとき（疾病の予防を目的とする動物用生物学的製剤）について検討し、同日付で検討結果を農林水産大臣に通知
- ・食品健康影響評価の要請（農薬「アゾキシストロビン」、動物用医薬品「ピルリマイシン」及び遺伝子組換え食品等5品目 「除草剤グリホサート耐性ワタMON88913系統」、「除草剤グリホサート耐性ワタMON88913系統とチョウ目害虫抵抗性ワタ15985系統を掛け合わせた品種」、「除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON88017系統」、「除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON88017系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON810系統を掛け合わせた品種」及び「マルチフェクト キシラナーゼ」)に関する厚生労働省からの説明
- ・食品健康影響評価の要請（動物用医薬品5品目 「牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢・粘膜病・牛パラインフルエンザ・牛アデノウイルス感染症混合生ワクチン（日生研牛呼吸器病4種混合生ワクチン）」、「牛流行熱・イバラキ病混合不活化ワクチン（日生研BEF・IK混合不活化ワクチン、牛流行熱・イバラキ病混合不活化ワクチン“化血研”及び“京都微研”牛流行熱・イバラキ病混合不活化ワクチン）」、「鶏伝染性気管支炎生ワクチン（IB TM生ワクチン“化血研”）」

「リン酸チルミコシンを有効成分とする製造用原体（リン酸チルミコシン 20 %（原薬）及び豚の飼料添加剤（動物用プルモチルプレミックス - 20、同 - 50、同 - 100）」及び「ミロサマイシンを有効成分とするみつばちの飼料添加剤（みつばち用アピテン）」に関する農林水産省からの説明

- ・食品健康影響評価（香料「イソプロパノール」及び添加物「亜酸化窒素」について、意見募集の結果を踏まえて検討。同日付で食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知）
- ・食品健康影響評価（動物用医薬品 4 品目 「鳥インフルエンザ（油性アジュバント加）不活化ワクチン（ノビリス IA inac）」、「鳥インフルエンザ（油性アジュバント加）不活化ワクチン（AI（H5N2亜型）不活化ワクチン（NBI）」、「鳥インフルエンザ（油性アジュバント加）不活化ワクチン（レイヤーミュンAIV）」及び「孵化を目的としたニシン目魚類のプロノポールを有効成分とする魚卵用消毒剤」について、意見募集の結果を踏まえて検討。同日付で食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣及び農林水産大臣に通知）
- ・農薬専門調査会における審議状況について報告（「プロヒドロジャスモン」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・「食の安全ダイヤル」寄せられた質問等について報告（11月分）

第74回 12月16日（木）

- ・食品健康影響評価（農薬「フェンアミドン」について、意見募集の結果を踏まえて検討。同日付で食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知）
- ・食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価について検討（リステリアを含む食中毒原因微生物全体について優先順位を付けつつ、微生物の定量的リスク評価に関するガイドラインを策定し、評価を行うことを決定。また、「Q熱」、「トランス脂肪酸」及び「妊婦のアルコール飲料の摂取による胎児への影響」についてのファクトシートの公表を決定し、翌日ホームページに掲載）
- ・食品健康影響評価の結果に基づく施策の実施状況の調査結果（平成16年12月）について審議

第75回 12月24日（金）

- ・食品健康影響評価の要請（土壌残留に係る農薬登録保留基準の見直しについて）に関する環境省からの説明
- ・食品健康影響評価の要請（特定保健用食品 4 品目 「燕龍茶レベルケア」、「ブレンディスタイリア低糖タイプ」、「食物せんいのおいしい水」及び「アミールS 健康野菜100」）に関する厚生労働省からの説明
- ・新開発食品専門調査会における審議状況について報告（特定保健用食品「プリトロール」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・高病原性鳥インフルエンザ対策について（農林水産省からの報告）
- ・食品安全委員会関係平成17年度予算（案）の概要について（報告）
- ・企画専門調査会に当面調査審議を求める事項について検討（「基本的事項のフォローアップ」、「平成17年度食品安全委員会運営計画」及び「食品安全委員会自らの判断により食品健康影響評価を行うべき対象の点検・検討に資するための危害情報等に関する報告の聴取・検討」について調査審議を求めることを決定）
- ・食品安全モニターからの報告について（11月分）

2. 専門調査会の開催

(1) 緊急時対応専門調査会

第8回 12月21日(火)

- ・ 危害要因別緊急時対応マニュアルについて検討

(2) 添加物専門調査会

第15回 12月22日(水)

- ・ 「ヒドロキシプロピルセルロース」について検討

(3) 農薬専門調査会

第20回 12月1日(水)

- ・ 「カズサホス」について検討。国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

第21回 12月15日(水)

- ・ 「クロルプリホス」及び「フロニカミド」について検討

(4) 動物用医薬品専門調査会

第21回 12月21日(火)

- ・ 動物用医薬品5品目(「牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢・粘膜病・牛パラインフルエンザ・牛アデノウイルス感染症混合生ワクチン(日生研牛呼吸器病4種混合生ワクチン)」、「牛流行熱・イバラキ病混合不活化ワクチン(日生研BEF・IK混合不活化ワクチン、牛流行熱・イバラキ病混合不活化ワクチン“化血研”及び“京都微研”牛流行熱・イバラキ病混合不活化ワクチン)」、「鶏伝染性気管支炎生ワクチン(1B TM生ワクチン“化血研”)」、「リン酸チルミコシンを有効成分とする製造用原体(リン酸チルミコシン20%(原薬)及び豚の飼料添加剤(動物用プルモチルプレミックス-20、同-50、同-100)」及び「ミロサマイシンを有効成分とするみつばちの飼料添加剤(みつばち用アピテン)」)の再審査について検討。、及び について、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(5) 汚染物質専門調査会

第7回 12月14日(火)

- ・ 魚介類等に含まれるメチル水銀について検討(参考人(坂本国立水俣病総合研究センター疫学研究部調査室長)より講演)

(6) プリオン専門調査会

第17回 12月6日(月)

- ・ 我が国における牛海綿状脳症(BSE)対策の見直しに関する諮問について検討

第18回 12月22日(水)

- ・ 我が国における牛海綿状脳症(BSE)対策の見直しに関する諮問について検討

(7) 遺伝子組換え食品等専門調査会

第20回 12月21日(火)

- ・ 遺伝子組換え食品等4品目(「ラウンドアップ・レディー・アルファルファJ101系統」、「ラウンドアップ・レディー・アルファルファJ163系統」、「L-アルギニン」及び「除草剤グリホサート耐性ワタMON88913系統)」について検討

(8) 新開発食品専門調査会

第 19 回 12 月 13 日 (月)

- ・ 特定保健用食品 5 品目 (「オーラルヘルスタブレット カルシウム&イソフラボン」_⓵ 「イソフラボンみそ」_⓶ 「プリトロール」_⓷ 「黒烏龍茶」及び「ラクチトールガムマイルドミント、ラクチトールガムストロングミント」) について検討。 、 及び について、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

3 . 意見交換会等の開催

(1) 「食品に関するリスクコミュニケーション - 日本における牛海綿状脳症 (B S E) 対策に関する意見交換会 - 」の開催

食品安全委員会では、9 月 9 日に了承された「日本における牛海綿状脳症 (B S E) 対策について - 中間とりまとめ - 」の内容について、理解を促進するとともに、10 月 15 日付け要請された B S E 対策に関する食品健康影響評価について、今後のプリオン専門調査会などにおいて、広く関係者の意見を議論の参考とするため、厚生労働省、農林水産省、都道府県などの協力を得て、全国各地で意見交換会を開催。

各意見交換会では、委員又はプリオン専門調査会専門委員より「日本における牛海綿状脳症 (B S E) 対策について - 中間とりまとめ - 」のテーマで講演を行ったほか、厚生労働省及び農林水産省より「食品安全委員会への諮問の考え方について」の説明を行い、会場参加者との意見交換を実施。12 月は、以下の 20 カ所で開催。

12 月 1 日 (水) 鳥取
12 月 2 日 (木) 松江
12 月 3 日 (金) 山口・広島
12 月 8 日 (水) 山形・仙台
12 月 9 日 (木) 盛岡・青森
12 月 10 日 (金) 秋田
12 月 13 日 (月) 京都・名古屋
12 月 14 日 (火) 津・岐阜
12 月 15 日 (水) 福井
12 月 16 日 (木) 金沢・富山
12 月 20 日 (月) 高知
12 月 21 日 (火) 高松
12 月 22 日 (水) 松山
12 月 24 日 (金) 千葉

(2) その他の意見交換会の開催

12 月 7 日 (火)

- ・ 食品安全委員会の主催により、「食品に関するリスクコミュニケーション (東京) - B S E の最新知見を学ぶ - 」を開催。1997 年にプリオン研究でノーベル医学・生理学賞を受賞したスタンリー・プルシナー教授 (カリフォルニア大学サンフランシスコ校) より「B S E と合成プリオン」のテーマで講演を行ったほか、会場参加者との意見交換を実施

4．その他

1 1月28日(日)～12月5日(日)

[1 1月29日～12月1日 カナダ国アルバータ州、12月2日～3日 米国カンザス州]

- ・ B S E に係る米国及びカナダ現地調査 (日本側は外務省、厚生労働省、農林水産省が参加。食品安全委員会はオブザーバーとして立会)

1 2月16日(木)～17日(金)

- ・ 東京で米国産牛肉の貿易再開に関する米側専門家との意見交換 (日本側は6名の専門家及び外務省、厚生労働省、農林水産省が参加。食品安全委員会はオブザーバーとして立会)

食品安全委員会季刊誌の発刊

- ・ 「食品安全 - 共に考えよう、食の科学 - vol. 3 」を発刊